

令和7年度浜松学院大学入学者選抜試験 B日程【英語】出題趣旨

本学地域共創学部の入学者選抜試験の英語の出題趣旨：

本学のアドミッション・ポリシーとして「コミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、創造性豊かで行動力のある者」を受け入れ、入学後には「多様なコミュニケーション能力」を高めることをカリキュラム・ポリシーとして学生に促している。

それゆえ、英語の入学者選抜試験においては、そうしたポリシーに基づいて、問題文には日常的な英語表現を用いている。入学前の学習で、それぞれの状況に応じた語形変化も含めて必要十分な語彙を習得できているか、さらには、構文、慣用表現といった英語話者の発想を適切に理解し、そこから話者の心情を読み取ることができるかを問う出題をしている。

各問題の出題趣旨：

問題Ⅰ（１）～（５）

人称、時制、品詞、慣用表現等に関連した適切な単語を適切な語形で用いることが習得できているかを問う。

問題Ⅱ（６）～（１０）

文脈に応じた語形変化や、用いるべき品詞、慣用表現の理解を含めて、適切な単語の使用を習得できているかを問う。

問題Ⅲ（１１）～（１３）

基本的な語彙、文法の知識を基に、日常表現が理解できるかを問う。

問題Ⅳ（１４）（１５） 会話の自然な流れを理解し、話者の心情が読み取れるかを問う。

問題Ⅴ（１６）（１７） 「本文の主張の根拠となる事実」を正確に読み取る力を問う。

文章のテーマ

本文章は、異なる文化・言語・障害など多様な背景を持つ学生に対して、学校や大学が適切な支援を行うことの重要性を述べている。そして、そのような支援が、単に個々の学習者の成功にとどまらず、最終的には社会全体の公平性や持続的発展につながることを示している。